

## 総務厚生委員会研修報告書

平成 30 年 12 月 6 日

宮田村議会議長 清水 正康 様

総務厚生委員長 宮井 訓  
総務厚生副委員長 小野 章  
総務厚生委員 加藤恭一

1. 日 程 平成 30 年 11 月 7 日～11 月 8 日 2 日間

2. 参加者 総務厚生委員会  
宮井委員長  
加藤恭一委員  
城倉栄治委員  
飛岡聡委員  
小野章副委員長  
計 5 名



11 月 8 日は 1 名私用の為欠席 計 4 名

3. 経 費

宮田村議会議員報酬及び費用弁償等に関する条例、宮田村職員等の旅費に関する条例で経費を算出した。

(内訳)

日当 2200 円×2 日=4400 円 (1 人分) 県外宿泊費 1 泊 12000 円 (1 人分)  
4400 円+12000 円=16400 円 (1 人分) 16400 円×5 人分=82000 円であるが  
11 月 8 日は 1 名欠席の為 日当 2200 円は返金する。合計 79800 円を充当する

4. 研修成果報告

## ① 南砺市の地域包括等について

文 責 加藤恭一

### (1) 南砺市の概要

- ・南砺市は富山県の南西端に位置し、北部は砺波市と小矢部市、東部は富山市、西部は石川県金沢市と白山市、南部は山岳を経て岐阜県飛騨市、白川村と隣接しています。面積は 668.64Km<sup>2</sup>でそのうち約 8 割が白山国立公園等を含む森林であるほか、庄川や小矢部川が北流するなど豊かな自然に恵まれています。現在の南砺市は平成の大合併により城端町、井波町、福野町、福光町、平村、上平村、利賀村、井口村の 4 町 4 村が合併して誕生しました。平成 30 年 3 月末現在の人口は 51,485 人、世帯数は 17,739 世帯で平成 30 年度の一般会計予算規模は 309 億 8 千万円で、人口が宮田村の約 5.7 倍に対して予算規模は 7.7 倍で特筆すべきは地方交付税が 132 億 5 千万円ということです。これは過疎対策債が多いとのこと。

### (2) 南砺で暮らしません課の取組みについて

- ・日本創生会議が過去に発表した南砺市の人口の推移は人口移動が収束しない場合、2010 年が 54,724 人で 2015 年が 51,350 人、2020 年が 48,214 人そして 2040 年の予想が 32,130 人となっています。そして高齢化率も 2010 年が 31.1%で 2015 年は 36.2%、2020 年は 38.9%、2040 年は 43.9%となっています。そんな数字に危機感を募らせた南砺市ではいろいろな人口増施策に取り組んでいます。

①婚活支援事業として“あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト” AIP48 により『婚活応援団なんとおせっ会さん』や『婚活倶楽部なんとなん』、『なんと婚活大使』、『モテモテなんとお見合い大作戦』を実施しています。またテレビ番組のお見合い大作戦も誘致したそうです。その結果、平成 23 年から 30 年までの間に 105 組が成婚カップルとして成立し赤ちゃんも

60人誕生したそうです。参考までに婚活支援事業には900万円の予算が投入され、内お見合い大作戦は130万円の予算だそうです。

②定住・空家対策事業としては東京都のふるさと回帰支援センターで1年に4回から7回程度開催される南砺市の移住セミナー、市内の五箇山、五箇山荘で実施される南砺市の移住体験ツアー、市内の太美山体験ハウス、城端体験ハウス、西赤尾体験ハウス等の南砺市の移住体験ハウス、(公社)富山県宅地建物取引業協会と連携して行われている南砺市空家バンク、その他各種の奨励金や補助金制度、また南砺市商工会、市、民間のgroovesと連携して行う南砺市『副業』応援市プロジェクト等の事業を行っています。

### (3) 地域包括ケアシステムについて

- ・合併前は井波町に公立井波総合病院があったが、これからは在宅医療が重要であると考え合併後に耐震補強工事を行い、『南砺市民病院』として生まれ変わった。また県域を越えた広域連合により平成11年に岐阜県の白川村と『南砺広域連合』を設立し平成14年10月には拠点施設となる『公立南砺中央病院』が誕生し他に3か所ある診療所と南砺・地域医療センターとの連携を強固なものとした。

平成20年には南砺市における医師不足が深刻化し、その対策として南砺市民病院に総合診療科を設置するとともに、総合医をめざす研修医の受け入れを開始し、希望する多くの若い医師を総合医として養成し、その結果一部の医師が総合医として南砺市に定着した。

平成28年には今までの組織に福祉課、健康化も併せ『地域包括医療ケア部』に再編し、平成29年には『南砺市地域包括ケアセンター』を開設し地域医療の充実を図っている。

また地域包括医療ケアをまちづくりとして捉え、南砺市の地域包括医療ケアによる『5つのまちづくり規範』を策定したこと、地域包括ケアのある

べき姿を自助、公助、共助、互助の4つに捉えていることが印象に残っている。

(4) 特定健診率向上について

- ・南砺市の平成28年度の特定健康診査は対象者8,830人に対して実施数は5,515人で実施率は62.5%となっている。全国の目標値は60%であるので若干上回っているが、南砺市ではさらに高い65%という目標値を設定した。その対策として平成20年度には未受診者のアンケート調査を実施し受診勧奨ハガキの送付、21年度は健診制度説明・PRの強化と受診勧奨ハガキの対象者拡大、23年度は年2回の集団検診の導入と同じく2回の受診勧奨ハガキ送付、25年度は年3回の集団健診の拡充とNTTによる受診勧奨コール導入、29年度は受診勧奨訪問と医師会により診療情報の提供等を行った。また受信券送付封筒はわかりやすくするように、なるべく多くのことを印刷してある。

**①40~74歳** 平成30年度

郵便番号 XXX-XXXX

住所 富山県南砺市〇〇〇〇番地

フリガナ ナント タロウ

氏名 南砺 太郎 様

XXX X

健診内容	実施形態	実施曜日	健診時間

**重要  
即開封**

平成30年度  
**特定健康診査 受診券 在中**

料金後納  
郵便

- 1年に1回特定健診で健康チェック!  
自分の生活習慣を振り返り、改善する機会にしましょう。
- **治療中の方も対象です!**  
ぜひ受診ください。

裏面もご覧ください

**受診勧奨期間** 平成30年6月12日(火)~7月31日(火)  
※実施期間は9月29日(土)までです

**実施場所** 市内指定医療機関  
※同封の「指定医療機関一覧」をご覧ください

**持ち物**


<p>① [国民健康保険 被保険者証] (または資格証明書) ※水色</p>	<p>② [特定健診 受診券] (同封) ※A4白色</p>	<p>③ [質問票] (同封) ※A4緑色</p>
--	--	---------------------------------------

事前に記入し、受診の際に持参ください  
※折り曲げないでください

お問い合わせ  
○南砺市健康課保健係  
Tel. 0763-23-2027

○福光保健センター Tel. 0763-52-1767

○平保健センター Tel. 0763-66-8026



おかげさまで  
南砺市は  
特定健診受診率  
県内1位!

〒932-0293 富山県南砺市北川166-1 南砺市健康課 (地域包括ケアセンター内)

## ②関市の健康増進事業について

文責 小野章



・ 関市しあわせヘルスプロジェクトについて  
(説明者) 市民健康課 西部課長 保健センター 板谷所長 佐藤課長補佐

(事業経過)

＜しあわせヘルスヘルスプラン～第2次健康せき21計画についての説明＞  
「すべての市民が自ら健康づくりに取り組み笑顔で生き生きと生活できるまち」を

基本理念に平成 16 年～平成 25 年までを第 1 次として実施する。

平成 26 年 3 月に第 2 次を策定、4 月事業開始（10 年間）平成 31 年 3 月の中間評価に向けてアンケート調査を実施した。

（事業実施内容）

- ・せき＊ミリオンウォーキング
- ・せき＊企業対抗ミリオンウォーキング
- ・せき＊しあわせヘルスマイレージ
- ・せき＊しあわせ健康宣言
- ・市民健康講演会

（地域・団体と行政との連携）

- ・しあわせヘルスマイレージ事業

関市商店街振興組合、市内協賛企業、地域団体（まちづくり推進委員会、老人クラブ）  
市内外の医療機関（がん検診 歯科検診）、行政側の各課

- ・企業対抗ミリオンウォーキング

市内参加企業（従業員 5 人以上を対象）

- ・健康づくり出前講座

岐阜医療科学大学、中部学院大学、医師会、歯科医師会、薬剤師会

（プロジェクト）

- ・ミリオンウォーキング

市民にウォーキング習慣の定着を図るため実施。

登録ハガキを提出（登録）150 日以内に 100 万歩を歩く→達成者（報告）→認定証  
29 年度の達成者は 91%であった。

（感想）

年代別登録者数の 60 歳以上が 85%台であった。若い世代は非常に少ない。いろいろなスポーツがあるのでウォーキングの選択肢は難しい。登録者も男性より女性が多い。どこもいっしょだと感じた。人口も多いので周知も大変である。

- ・企業対抗ミリオンウォーキング

企業や官公庁向けに案内を送り 5 人一組チームを作り連続 30 日間のウォーキングの合計歩数を競う。425 企業に郵送して 50 チーム参加。40 代、50 代で 50%。

(感想)

行政側の案内を積極的にやって進めても企業側の反応が鈍い。効果に疑問。

・健康づくり出前講座 健康講演会

大学、三師会や専門団体に医療や介護、食事、生活一般等々口座数 36 ある。

(感想)

とても良いと思う。啓発活動になる。

・しあわせ健康宣言

市民が自分で決めた健康づくりの取り組みを宣言し実践します。

・しあわせヘルスマイレージ

関市の取り組み健康プロジェクト（各検診、各講座、運動、教室、献血等）の健康づくりに参加し進んで取り組むとポイントをもらえる。貯まったポイントカードで応募すると抽選で商品が当たる。

協賛企業 25 商品 172 応募者 29 年度 1898 人

他の事業との連携…地元の協同組合のスタンプカードでポイントを獲得し買い物の割引や食事券に利用。他にも県のポイント事業もある。

(感想)

人口数に照らし合わせると応募者の数が少ないと感じる。事業の拡大のことを聞くと関市の担当者もこれ以上予算を増やすことはできないという。行政が補助金を出しているいろいろなことが難しくなっている。

《関市の現状と評価及び課題》

・健康センターの主要な話を聴いて

現在の人口は 89036 人で人口は減少し続けているが世帯数は増加している。

医療費が増加しとくに循環器の疾患が 1 億円を超える。新生物よりも多い。

1 位 循環器 2 位 新生物 3 位 内分泌、栄養、代謝疾患 上位 3 位までで

関市全体の医療費の 56% を占める。後期高齢者医療においても上位 3 位までいっしょで循環器疾患が 1 位、医療費も約 3 億円ちかくであり後期高齢者の医療費の 42% 台であった。3 位までで後期高齢者医療費の 70% を超えている。

(研修成果)

関市は岐阜県の中でも医療費が高く疾病対策と予防のために健康づくりプロジェクト立ち上げた。健康づくりは人によって意識は違うので一概には言えないがポイント制度で成果を上げるとは考えにくい。続けての考察が必要。